

10 コンウォール・リーの功績調書

昭和15年(1940)

紀元2600年記念祝典の表彰に関する功績調書です。

【調書内容の紹介】

- ・英國貴族で代々キリスト教信者の家の出身。
 - ・大正5年、草津町の湯之澤地区に居を構え、ハンセン病患者に施薬・施療を開始した。
 - ・事業開始以来昭和13年末に至るまで私財も投じて収容・救療を行った患者はハンセン病患者だけでも570名に達し、延べ人員は1,285,066名を数えた。
 - ・亡くなった患者の体を必ず湯灌し、その数は298骸に及んだ。引き取る人のない遺骸には懸に葬式を営んだ。
 - ・多年にわたり我が身を忘れ、心身の過労をいとわず激務に従事したため健康を害し、昭和11年に第一線を退き、兵庫県明石市で療養を始めた。

群馬県行政文書「善行」(A0184A0011-33)

性行	本籍地 英國カントベリー・ヘイリー町 現住所 群馬懸戸郡草津町大字草津 英国资格 聖バーナード監院主 工八・エッセ・コノウオール・リー 西慶太會五十一年五月二日生
資性温良高潔ニテ品行極メテ方正ナリ夙ニ社會公苦ノ爲ニ 獻身約生涯ヲ送ラムヨシキ志シ英國ニ於テハ自費ヲ投ジニ各種 慈善事業ヲ補助セリト調フ	
女史、家ハ累代キリスト教徒者ニシテ女史ハ熱烈ナル信仰ハ遂ニ 獨身以テ神ニ奉仕シ社會人類ニ爲ニ盡ナシヨリヲ決意シキリスト 聖教ヲ慕フテ世ノ最熱忱事タル癡患者者、爲シ一身上據ケテ愚 撲教濟ニ努力シ自己ハ使命ナリト信シ明治四十一年癡患者者	
最も多シト称スル日本ニ渡來シ而來一身ヲ挺シテ癡患者者、慰撫故 濟思想ノ善導トニ努力シ衆望最も厚ニ敬慕セラ。	
功勞事績	
明治四十一年日本ニ渡來後ニ事業準備、爲横濱市花咲町聖アン デレ教会ニ宣教師トニテ活動、傍ラ曰本語ヲ研究シ明治四十年 東京市聖ペテロ教会ニ轉ニ或ハ熊本ニ在ニ同眷病院ヲ訪ニテ癡 高病下自黒ニ歎憤地ニ通ヒテ癡患者者、躰帶卷管ハ等ヲ急シ 親シ、患者ニ接シテ慰撫故濟ニ從事セリ。	
大正四年八月日本聖公會北東京都、焉ニ依リ福音傳道者、島群 馬縣吉田郡草津町大字草津湯又澤ニテ癡患者者御子ヲ訪ニテ癡 患者者、闇ヤシニマテ悲惨ナル生活狀態ヲ見シ、視察ニタル結果之 ヲ取締スル急務ナリ痛感シ大正五年同都一落内ニ永住ノ居ラ 舊ヘ免シ自費ヲ拔シテ日本基督教宣教師團、假禮拜堂ヲ 設置シテ之ヲ聖ペテロ教会ニ移スル教化ノ中心ト急シ專ニ癡患者 ニ對シ福音傳道ニ努メ又聖ペテロ医院ヲ建設シテ施藥施療	
此頃ヨリ多年ニ亘リ敷務ニ高齡トニヨリテ女史が健、高ラ寄シテレ ト及ニ經營資金ニ畜々豐ナラシニコト加え昭和七年ニハ草津町ヨリ 約一里ヲ距ツル所生、地ニ國立療養院所ノ設立セラルル事因外 ヨリ情勢、変化相應シテ起シ、シテ爾來本事業ハ徐々ニ縮少 シ、前途止シ、今僅ナキニ至り現在ノ收容者數ハ八十名ノ減シタリ。 然ルト雖、本事業開始以來昭和十三年本ニ至ル三十三年間ニ於テ收 容數、常に二十名、五百七十名ニ達シ此、近人員	

本籍地 英国 カンタベリー・ハイリー町
現住所 群馬県吾妻郡草津町大字草津式百九拾番地ノ式
英國貴族 聖バルナバ医院生

性行 資質温良高潔ニシテ品行極メテ方正ナリ。夙ニ社会公共ノ為
獻身的生涯ヲ送ラムコトヲ志シ、英國ニ於テハ自費ヲ投ジテ各種
ノ慈善事業ヲ補助セリト謂フ。

女史ノ家ハ累代キリスト教信者ニシテ、女史ノ熱烈ナル信仰ハ遂ニ
独身以テ神ニ奉仕シ、社会人類ノ為ニ盡サムコトヲ決意シ、キリスト
ノ聖教ヲ慕フテ世ノ最悲惨事タル癡患者ノ為ニ一身ヲ捧ゲテ慰
撫救濟ニ努ムルヲ自己ノ使命ナリト信ジ、明治四十一年癡患者ノ
最モ多シト称スル日本ニ渡来シ、爾來一身ヲ挺シテ癡患者ノ慰撫救
濟ト思想ノ善導トニ努力シ、衆望最モ厚ク敬慕セラル。

功勞事績 功勞事績

明治四十一年日本ニ渡来後ハ、事業準備ノ為横浜市花咲町聖アン
デレ教会ニ宣教師トシテ活動ノ傍ラ日本語ヲ研究シ、明治四十五年
東京市聖バルナバ協会ニ転ジ、或ハ熊本ニ在ル回春病院ヲ訪レ、或ハ東
京府下目黒ノ慰庵院ニ通ヒテ癡患者ノ繩帶巻替ヘ等ヲ為シ

親シク患者ニ接シテ慰撫救濟ニ從事セリ。

大正四年八月、日本聖公会北東京部ノ薦ニ依リ福音伝道ノ為群
馬県吾妻郡草津町大字草津湯ノ澤ナル癡患者部落ヲ訪ヒテ癡
患者ノ間キシニマサル悲慘ナル生活状態ヲ観ニ視察シタル結果之
ヲ救濟スルノ急務ナルヲ痛感シ、大正五年同部落内ニ永住ノ居ヲ
構ヘ、先づ自費ヲ投ジテ日本エビスコバル宣教師田ノ坂礼拝堂ヲ
設置シテ之ヲ聖バルナバ協会ト称シ教化ノ中心ト為シ、専ラ癡患者
ニ対シ福音伝道ニ努メ、又聖バルナバ医院ヲ建設シテ施業施療ヲ
始メトシテ広ク医療ノ途ヲ啓キ、更ニ貧困又ハ身体不隨ノ為自
活シ得ザル癡患者ヲ収容、救濟スルノ必要ヲ認メ、各種収容
所ヲ建設シテ、無料又ハ実費ヲ以テ療養セシムルノ方法ヲ講ジ、其
ノ他収容以外ニ於テ生活救濟ヲ必要トスル者ニ対シテハ家屋ヲ給
与シ、尚毎月生活費ヲ給与スル島救濟ノ行届キタルコト他ニ其
ノ例ヲ見ザル所ナリ。本事業ノ創始以来二十有余年ノ間、孜々シテ
事業ノ拡張ト設備ノ完成トヲ図リ、昭和五年二八収容救助者數
ヨリ情勢ノ相躍イデ起リシ為、爾來本事業ハ徐々ニ縮小
此頃ヨリ多年ニ亘ル激務ト高齡トニヨリテ、女史ガ健康ヲ害シタルコ
ト、及ビ経営資金ノ益々豊ナラザルコト、加之昭和七年ニハ草津町ヨリ
約一里ヲ距ツル栗生ノ地ニ國立療養院所ノ設立セラル等、内外
事務ヲ行ヒシ癡患者ノミニテモ五百七十六名ニ達シ、此ノ延人員
二百三十二名ノ多數ヲ擁スルノ盛況ヲ呈シタリ。

八實百二十八万五千六十六名ノ多數ヲ算ス。女史ハ上述ノ如ク癪患者ニ対スル生活救助、救療教化ノ事業ハミニ満足スルコトナク、創業當時ヨリ病者子弟ノ教育保育ニ心ヲ致シ、聖望小学校・聖愛幼稚園等ノ施設ヲ興シ、又日常癪患者ニ接シテ慰撫救濟ニ終始スレ外若シ患者ニシテ死亡スルモノアラバ、肉親ト雖接スルコトヲ厭フベキ患者、専職ヲ以テ自ラ湯灌ヲナス其ノ數實ニ三百九十八骸及ビ遺骸、引取人ナキモニテハ戀心ニ蒙テ或モ營ムヲ例トセリ。之ヲ見ハ如何ニ才史が獻身的努力ヲ致シツアリシカラ窺フニ足シジン尚本事業擴張ニ關シ曾自費ヲ以テ歐米ヲ歴訪シ資金ヲ募集セシコトアリシガ、其ノ他ニ於テハ敢テ他人ノ援助ヲ求メント始トシ耳々維持等ノ大部分ハ女史ノ私財ニ依ルモノニシテ甚額莫大ナルベシト雖女史ハ之ヲ語レテ欲セば確知スルニ由ナク全ク名利ヲ意ニ介ゼス愛他主義ノ實徳ヲ以テ自ラ顯示メ。

女史ハ本事業、爲多年ニ亘り我身ヲ忘レ、心身ノ過労ヲ厭ハズ

激務ニ從事シタルタメ昭和九年頃ヨリ健康ヲ害シ静養ヲ續ケシカ時既ニ八十ニ至シ高齢ナハ病状一進一退シテ意ノ如クナラザリシヲ以テ遂ニ心ナラズモ昭和十一年七月斯業ノ第一線ヨリ退キ爾來兵庫県明石ニ転シ専心療養ヲナシツツアリ。

之ヲ要スルニ女史ノ群馬県吾妻郡草津町ニ於ケル事績ヲ其ノ内容

ヨリ左ノ六種ニ大別スルヲ得
1 生活救助ニ關スル事績
2 救療ニ關スル事績
3 教化ニ關スル事績
4 教育・保育ニ關スル事績
5 慰安ニ關スル事績
6 埋葬ニ關スル事績
人生救助ニ關スル事績
女史ハ來草後間モナク後述ノ各種收容施設ヲ建設シテ、病者ニシテ生活、資ニ乏シキ者又ハ本病ノタメ身体不隨

者ニ對スル生活救助、救療教化ノ事業ノミニ満足スルコトナク、創業當時ヨリ病者子弟ノ教育保育ニ心ヲ致シ、聖望小学校・聖愛幼稚園等ノ施設ヲ興シ、又日常癪患者ニ接シテ慰撫救濟ニ終始スル外、若シ患者ニシテ死亡スルモノアラバ、肉親ト雖接スルコトヲ厭フベキ患者ノ遺骸ヲ必ズ自レ湯灌ヲナス。其ノ數實ニ二二百九十八骸ニ及ビ、且遺骸ノ引取人ナキモノハ戀心ニ蒙テ或モ營ムヲ例トセリ。

之ヲ見レバ如何ニ才史が獻身的努力ヲ致シツアリシカラ窺フニ足ルベシ。尚本事業ノ拡張ニ關シ曾自費ヲ以テ歐米ヲ歴訪シ資金ヲ募集セシコトアリシガ、其ノ他ニ於テハ敢テ他人ノ援助ヲ求メントセシコトナク、飽迄独力ヲ以テ事業ヲ遂行セムコトヲ期シ、各種ノ設備ヲ始トシ、年々維持費等ノ大部分ハ女史ノ私財ニ依ルモノニシテ、其ノ額ハ莫大ナルベシト雖、女史ハ之ヲ語ルヲ欲セズ、確知スルニ由ナク、全ク名利ヲ意ニ介ゼス愛他主義ノ實徳ヲ以テ自ラ顯示メ。

女史は本事業ノ為多年ニ亘り我身ヲ忘レ、心身ノ過労ヲ厭ハズ

激務ニ從事シタルタメ、昭和九年頃ヨリ健康ヲ害シ静養ヲ続

ケシガ、時既ニ八十二垂トスル高齢ナレバ、病状一進一退シテ意ノ如

クナラザリシヲ以テ、遂ニ心ナラズモ昭和十一年七月斯業ノ第一線ヨリ退

キ、爾來兵庫県明石ニ転シ専心療養ヲナシツツアリ。

之ヲ要スルニ女史ノ群馬県吾妻郡草津町ニ於ケル事績ヲ其ノ内容

ヨリ左ノ六種ニ大別スルヲ得
1 生活救助ニ關スル事績
2 救療ニ關スル事績
3 教化ニ關スル事績
4 教育・保育ニ關スル事績
5 慰安ニ關スル事績
6 埋葬ニ關スル事績
人生救助ニ關スル事績
女史ハ來草後間モナク後述ノ各種收容施設ヲ建設

シテ、病者ニシテ生活ノ資ニ乏シキ者、又ハ本病ノタメ身体不隨

羊
系